



第152号 ボランティア通信

災害ボランティアに協力してきました。

8月からの大雨災害によって被害が発生した五城目町では、8月15日に五城目町社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立ち上げ、能代市社協から2名が現場に向かい活動してきました。

県内各地の社協から応援が集まり、取り組んだ内容は、ニーズ調査・マッチング・資材管理・貸し出しなどの運営です。

今回の五城目町の災害ボランティアは、能代市社協が参加した3日間でも、150人を超える個人や団体が県内から駆けつけ、浸水のあった家の物出しや泥出し、災害廃棄物の運搬を行うなど活躍していました。

災害ボランティアセンターとは



災害ボランティアセンターとは、大規模な災害が発生した際に、被災者の困りごとに対し、ボランティアの力を借りて、被災者の生活の復旧・復興に向けた福祉救援活動を円滑に行うための組織です。また被災地及び被災者の生活再建を支援することを最大の目的とし、かつボランティア活動を支援することを目的として運営します。

被災地を応援したい方へ

～災害ボランティアに参加しませんか？～

災害ボランティアとは、地震や水害、火山噴火などの災害発生時から復興に至るまで、被災地のために復旧・復興の手伝いを行う活動のことです。県内で災害ボランティア活動してみたいと思ったときは、秋田県社会福祉協議会のホームページを参考にしてください。



参加する前にできること

現地に行く前に準備することがあります



災害ボランティアの活動は、現地の災害ボランティアセンターを通じて行います。ボランティア募集があるか、ホームページなどで必ず確認しましょう。

活動に必要な食料・飲料水・装備品などは各自で準備し持参してください。

必要な物（ヘルメットや帽子等の装備品）は現場によって違うので、情報収集を行いましょう。

・ボランティア活動を行う際は、「もしも」に備えてボランティア保険に加入しましょう!!



ボランティアスクールを開催!!



ボランティアスクールは、ボランティア活動をしたいと考えている方が必要な技術や知識を取得することを目的として様々な講師をお招きし毎年開催しています。

今回は、フレイルとはどんなものなのか、また予防するために気を付けることについての講義や、地震と津波について実際に映像を見ながら、発生した時の取るべき行動や避難所で作れるペーパーバック、また、お湯が限られるため、少量で全身を拭くことができるホットタオルの作り方などの講義でした。

その他にも割りばしアートでは、様々な人とのコミュニケーションを図る中で自分の心も大切にできるよう、自分の心と向き合い「言葉に癒される」をテーマに楽しく自由に自分らしく取り組んでいました。

次回は9月29日（木）に障害施設でボランティアをするための講座を開催予定です。

随時募集していますので参加されたい方はボランティアセンターにご連絡下さい!!



ジュニアボランティアスクール開催!!



夏休みの期間、小学生から中学生までを対象に、福祉について学ぶことができるジュニアボランティアスクールが、7月29日・8月3日の2日間に渡り開催されました。

災害について人型ロボットの「ペッパーくん」から説明を受けたり、一人暮らしの高齢者に元気の出る絵手紙を書いたり、実際に車いすで生活している方を講師にお招きし車いすの押し方や使い方等を教えていただきました!!

参加した9名の子ども達からは、「家族で避難ルートを確認したいと思った」「車いすで生活をする大変さがわかった」などの声があり、福祉について真剣に学んでいる様子でした。

12月の冬休み期間でもジュニアボランティアスクールを開催する予定となっておりますので、興味のある方はボランティアセンターまでご連絡下さい!!



【お願い】

この通信をご覧になってのご意見・ご感想をお寄せください。

【連絡先】能代市社会福祉協議会

能代市ボランティアセンター

TEL：89-6000 FAX89-6800